

御社での環境管理への取り組み状況についての調査にご協力下さい。複数の事業所がある場合、事業所毎にご記入願います。弊社へのご提出は、可能な限り、電子メールまたはフロッピーディスクにてご送付いただきますよう、お願いいたします。

御社名	
事業所名	
事業所所在地	
代表者名	
事業所TEL	
事業所FAX	

記入責任者	
回答記入日(西暦で記入)	
所属・役職	
氏名	
TEL	
E-Mail	

質問項目	ご回答欄	記入方法(記入例)
------	------	-----------

■ ISO14001等への取り組み状況		
(1) 御社(事業所)では、ISO14001を認証取得していますか？		はい=1, いいえ=0
・ 「はい」の場合、1)～3)をご回答し、(8)へお進みください。		
1) ISO14001取得年月(西暦で記入ください)	[]	2003/8
2) 認証番号	[]	TW03/00259EM
3) 審査登録機関	[]	SGSジャパン
・ ISO14001の認証取得活動中である。		はい=1, いいえ=0
「はい」の場合、取得予定年月をご記入し、(8)へお進みください。	[]	2004/8
・ その他のマネジメントシステム(エコアクション21, KES等)を構築していますか？		はい=1, いいえ=0
「はい」の場合、システムの名称を記入し、(8)へお進みください。	[]	KES
その他EMSを構築中ですか？「はい」の場合は、(8)へお進みください。		はい=1, いいえ=0

■ 自主的な環境取り組み状況		
(2) 環境理念/方針について		
・ 環境に関する理念や方針があり、文書・掲示等で社員に周知徹底している。		はい=1, いいえ=0
・ 環境方針で環境関連法規制の遵守、汚染予防を誓約している。		はい=1, いいえ=0
(3) 組織/体制について		
・ 環境担当役員が参画し、環境管理組織のもとに活動推進している。		はい=1, いいえ=0
・ 環境取り組み体制と成果を定期的に検証して次の活動に生かしている。		はい=1, いいえ=0
(4) 環境関連法規の管理/遵法について		
・ 自社に関係する主要な環境法規制を把握し、遵守している。		はい=1, いいえ=0
・ 事業に適用される環境関連法規は全て把握・遵守し、自主管理している。		はい=1, いいえ=0
・ 外部(地域協定、顧客等)からの環境に関する要求事項に適切に対応している。		はい=1, いいえ=0
(5) 資源・エネルギーについて		
・ 資源(原材料、水等)とエネルギー(電気、ガス、燃料等)の使用量を把握している。		はい=1, いいえ=0
・ 省資源と省エネルギーのために、具体的な削減目標や計画を立てている。		はい=1, いいえ=0
(6) 廃棄物処理について		
・ 事業廃棄物に対し、減量、分別、リサイクル等の活動を行っている。		はい=1, いいえ=0
・ 廃棄物の量と種類を把握し、具体的な削減目標や計画を立てている。		はい=1, いいえ=0
(7) 環境教育/啓発について		
・ 全従業員に対し、定期的に環境関連教育・啓発活動を行っている。		はい=1, いいえ=0

■ 製品の環境取り組み状況		
以下の評価は御社の代表製品について評価して下さい。また、本評価項目が御社に当てはまらない場合(商社機能のみである等)は、該当する項目の評価/ご記入は不要です。		
(8) 省資源・省エネルギーについて		
・ 3R(リデュース, リユース, リサイクル)による省資源化・廃棄物削減, 省エネルギー, 分解の容易性を考慮した設計を行っている。		はい=1, いいえ=0
(9) 化学物質の管理の遵守について		
・ 製品に有害化学物質の含有を禁止する国内外の法規制の存在を知っている。		はい=1, いいえ=0
・ 有害な化学物質の製品への使用を削減努力している。		はい=1, いいえ=0
(10) 製品梱包の省資源化について		
・ 省資源化設計や、回収等によるリユース, リサイクルの取り組みを行なっている。		はい=1, いいえ=0
(11) 製品梱包の化学物質の管理と遵守について		
・ 有害な化学物質の製品梱包への使用を削減努力している。		はい=1, いいえ=0
・ 「環境」に関わることについてのご意見、ご要望等がありましたらご自由にご記入ください。		

azbilグループグリーン調達評価票 補足説明

グリーン調達評価票に回答していただくための参考です。

◎: 補足説明事項が2つ以上該当するとき、「はい」と回答
○: 補足説明事項のうちいずれかが該当するとき、「はい」と回答

グリーン調達評価票のチェック事項

チェック事項の補足説明

回答条件

■ 自主的な環境取り組み状況

(2) 環境理念／方針について			
・ 環境に関する理念や方針があり、文書・掲示等で社員に周知徹底している。	・ 環境方針をいつ、どの様に周知したかを明確に説明できる。		—
・ 環境方針で環境関連法規制の順守、汚染予防を誓約している。	・ 環境方針の中に法規制順守、汚染予防に関する記述がある。		—
(3) 組織／体制について			
・ 環境担当役員が参画し、環境管理組織のもとに活動推進している。	・ 環境担当役員、管理組織の責任者を決めている。 ・ 管理組織の役割と管理・推進方法を決めている。 ・ 環境方針の主なものは、目標や計画とリンクし、実施している。		◎
・ 環境取り組み体制と成果を定期的に検証して次の活動に生かしている。	・ 1年に1回以上、環境に取り組んだ結果、予定通りの成果のあった点、目標未達の点を明確にし、未達の場合原因を究明し、次の改善目標としている。		—
(4) 環境関連法規の管理／順法について			
・ 自社に関する主要な環境法規制を把握している。	・ 自社に関する法規制の最新版の内容を把握する方法が確立されている。		—
・ 事業に適用される環境関連法規は全て把握・順守し、自主管理している。	・ 事業に適用・順守する法規制の実施事項を具体化して取り組んでいる。		—
・ 外部(地域協定、顧客等)からの環境に関する要求事項に適切に対応している。	・ 外部からの苦情が発生したら、誠実に受け止め、検討・対策結果が適切に回答できる手順が確立されている。		—
(5) 資源・エネルギーについて			
・ 資源(原材料、水等)とエネルギー(電気、ガス、燃料等)の使用量を把握している。	・ 検針票／請求書等のデータを整理して保管し、増加・減少の傾向をとらえ、要因を把握している。		—
・ 省資源と省エネルギーのために、具体的な削減目標や計画を立てている。	・ 削減目標を数値化し、削減の為の具体策と時期、役割分担が決まっている。		—
(6) 廃棄物処理について			
・ 事業廃棄物に対し、減量、分別、リサイクル等の活動を行っている。	・ 廃棄物を種類毎に分別保管し、リサイクルや廃棄物処理を適切に行う為の活動をしている。		—
・ 廃棄物の量と種類を把握し、具体的な削減目標や計画を立てている。	・ 廃棄物種類毎の削減の目標や計画、具体策は、関係者全員が理解し、実施している。		—
(7) 環境教育／啓発について			
・ 全従業員に対し、定期的に環境関連教育・啓発活動を行っている。	・ 環境教育では15分以上の説明を実施したことがある。 ・ 年に2回以上環境に関する教育・啓蒙を行っている。 ・ 環境に与える影響が大きい業務がある場合、環境汚染の危険がないよう日常業務の手順を決めるとともに、緊急時の処置も含めて教育を行っている。		◎

■ 製品の環境取り組み状況

azbilグループグリーン調達評価票 補足説明

グリーン調達評価票に回答していただくための参考です。

◎: 補足説明事項が2つ以上該当するとき、「はい」と回答
○: 補足説明事項のうちいずれかが該当するとき、「はい」と回答

グリーン調達評価票のチェック事項

チェック事項の補足説明

回答条件

グリーン調達評価票のチェック事項		チェック事項の補足説明		回答条件
(8) 省資源・省エネルギーについて				
<ul style="list-style-type: none"> 3R(リデュース、リユース、リサイクル)による省資源化・廃棄物削減、省エネルギー、分解の容易性を考慮した設計・工夫を行っている。 	・原材料の省資源化、環境に優しい材料を使用する等の工夫をしている。	○		
	・製品が廃棄された時の、廃棄物削減、又はリサイクル/リユースをする為の工夫を行っている。			
	・製品使用時の省エネをする工夫を行っている。			
(9) 化学物質の管理の順守について				
<ul style="list-style-type: none"> 製品に有害化学物質の含有を制限する国内外の法規制を知っている。 有害な化学物質の製品への使用を削減努力している。 	・RoHS指令など具体的な法規制と、その規制値、順守事項を理解している。	-		-
	・有害化学物質の製品含有を禁止、又は削減を行っている。	-		-
(10) 製品梱包の省資源化について				
<ul style="list-style-type: none"> 省資源化設計・工夫や、回収等によるリユース、リサイクルの取り組みを行なっている。 	・梱包材料の省資源化、環境に優しい材料を使用する等の工夫をしている。	○		
	・梱包材廃棄物を削減、又はリサイクル/リユースをする為の工夫を行っている。			
(11) 製品梱包の化学物質の管理と順守について				
<ul style="list-style-type: none"> 有害な化学物質の製品梱包への使用を削減努力している。 	・EUの包装廃棄物指令の内容を理解し、対応が必要なものは、梱包材中の化学物質は、規制値以下としている。	-		-